

平成25年度11月補正予算案のポイント

《補正予算案の特色》

◇台風第18号による災害への対応

- 阿智村(浪合)で観測史上最大の時間雨量を記録するなど、東信、南信を中心に県内全域で大雨となった9月の台風第18号により被災した道路、河川、農地等の復旧事業を迅速に実施します。

◇「信州」の価値向上と発信

- 地域間競争が激化する中でコアな信州ファンづくりを進めるため、信州の優れた「コト」「ヒト」「モノ」をトータルに発信し、人と人との交流を通じて来訪や移住、経済交流などにつながる強固な関係性を築く「しあわせ信州シェアスペース(仮称)」を平成26年夏に銀座(東京)に整備します。

◎ 補正予算額

49億6324万7千円

(債務負担行為 108億1209万9千円)

一般会計 (債務負担行為)	49億6324万7千円 (107億5502万円)
電気事業会計 (債務負担行為)	— (5707万9千円)

◇台風第18号による災害への対応

災害復旧事業

37億3659万5千円

(債務負担行為 5億1482万9千円)

<建設部、農政部>

異常出水による損壊や崩落など、被災した道路、河川、農地等の迅速な復旧を図るための事業を実施

県単独公共事業

10億3756万2千円

<建設部>

集中的な豪雨による倒木・落石等の除去や路肩の修繕等を実施

水産試験場(木曾試験地)の施設整備

3989万9千円

<農政部>

本県の重要な養殖魚である信州サーモン及びイワナの親魚養成・採卵に必要な取水施設が被災したため、代替施設を整備

◇「信州」の価値向上と発信

⑨ 新たな首都圏総合活動拠点の整備

1億3814万1千円

<観光部>

(債務負担行為 8億2189万9千円)

信州の美しく健康なライフスタイルを首都圏の人々とシェア(共有)し、コアな信州ファンづくりを進めるため、東京都内に「しあわせ信州シェアスペース(仮称)」を首都圏総合活動拠点として整備

- ・設置場所：東京都中央区銀座
- ・設置時期：平成26年夏

◇ その他

指定管理者による施設管理 (債務負担行為 84億6232万2千円) <企画部、健康福祉部、建設部>

複数年度にわたり指定管理者を指定する文化会館など8施設の指定管理料について債務負担行為を設定

自殺対策緊急強化基金の国庫への返還 479万5千円 <健康福祉部>

国の復興関連予算の使途厳格化に伴う返還要請に対し、事業実施に支障が生じない範囲内で返還

勤労者福祉施設の移管に向けた施設改修 (債務負担行為 926万7千円) <商工労働部>

木曾勤労者福祉センターの上松町への移管に向け、施設の老朽箇所の改修に着手